

一般社団法人 全日本菓子輸出促進協議会 加入のお願い

菓子業界では昨年のTPP合意を受け、農林水産大臣に、業界が取組む輸出拡大に対する国の支援を要請した。その後、国の理解と指導を得て、このほど国の支援策の受け皿となる菓子の輸出促進団体を設立することとなった。

これは設立趣意書(別項参照)にもあるように全日本菓子輸出工業協同組合連合会を発展的に改組して菓子業界挙げての受け皿とするもの。設立する団体の組織及び事業の概要は、別項通りを予定している。組合員の皆様で、菓子の輸出に関心がある方は問い合わせていただきたい。

〇問合先

全日本菓子協会専務理事・奥野和夫、電話：03-3431-3115、FAX：03-3432-1990、メール：anka1@nifty.com

一般社団法人 全日本菓子輸出促進協議会 設立趣意書

我が国では少子高齢化が他の国より速いペースで進行しており、今後国内の食市場は縮小すると見込まれています。一方で世界に目を向ければ、日本と距離が近いアジアを中心とした新興国では経済成長、人口増加が進んでおり、世界全体の食市場は平成21年(2009年)の340兆円から平成32年(2020年)に

は680兆円まで倍増すると推計されています。

我が国のおいしくて、安全な食品は世界において高い評価を受けており、「食」をテーマとするミラノ万博での成功や海外での日本食レストランの増加、更には訪日外国人が平成27年(2015年)には年間1,974万人と過去最高を記録し、日本の食品が多く購入されるなど、日本の食品に対して追い風が吹いています。

このような中で、農林水産物・食品の輸出額は着実に伸びており、平成25年(2013年)から3年連続で過去最高を記録し、平成27年(2015年)の輸出額は7,451億円と平成28年(2016年)に7,000億円という国が定めた

中間目標を1年前倒しで達成しました。

国は、農林水産物・食品の輸出額を平成32年(2020年)に1兆円に拡大することを目標としてきました。TPP交渉の合意を受けて平成27年11月に決定された「総合的なTPP関連政策大綱」において、前倒し達成を目指すこととされ、このための取組みを強化しています。

内閣官房に設置されている農林水産省・地域活力創造本部において、平成28年5月に「農林水産物の輸出強化戦略」が決定され、民間の意欲的な取組みを支援する「7つのアクション」、意欲ある農林漁業者や食品事業者に届ける「2つのメッセージ」(国・地域別の農林水産物・食品の輸出拡大戦略の提示、品目別の輸出力強化に向けた対応方向)が示され、政府・民間が一丸となって輸出促進に取組むこととされました。

この輸出促進の司令塔として輸出戦略実行委員会が設けられており、その下に設けられた品目別部会(コメ・コメ加工品部会、青果物部会、花卉部会等)において策定された品目別の輸出方針に基づいて輸出拡大に取組む品目別輸出団体に

第3回 乳製品(バター)需給等情報交換会議

ホクレン農業協同組合連合会よりは「北海道の生乳生産動向について」の説明があった。

28年の1日当たりの生乳生産量の推移だが、前年対比の増減は、本年度は2%後半ぐらい伸び率で出発した。この背景は、頭数的には変わらなかったが、27年度の北海道は、牛の飼となる良質な草が取れたので、頭当たりの乳量が増えた。ただ、7月下旬以降は気温が一気に上がって、伸び率が鈍化し、8月下旬の台風もあって、前年水準を下回

った。その後は、徐々に回復基調にある。今後の見通しだが、ほぼ前年並みに近い水準になる。今後の取り組みは、今年は春先から雨が少なく、暑さや台風もあり、草の生育や収量、品質に影響がでた。地域間の格差があるので、粗飼料を広域域流通して、不足しているところには輸入手当を付する。

数値がわかるようになったのはいいこと。需要が大きく変動すると供給にも影響があるので、情報提供をお願いしたい。乳房炎の影響はまだ少し残っているが、今後落ちていくと思う。

9月は都府県の生乳生産量がJミルクの予測ほどは落ちなかったことから、全国の生乳生産量は、予測より若干上回っていた。10月上旬の実績を見ると、東北・関東は予測より上回って

量が増えている。

△全国菓子工業組合連合会

バターの値段は高いが、供給はある。容量の少ない商品が増えているように感じる。

△日本パン工業会

バターは十分な量が供給されている。ただ、一時期国産が手に入らず、代替品に原料を切り替えたので、原料を元のバターに戻すのは難しい。

△Jミルク

9月の見通しに比べると、生乳生産量は上回っているが、飲用向けも上回って推移している。

△日本乳業協会

家庭用バターの8月の期末在庫が前年を下回っているが、冷蔵で消費期限が短いため、早く作って溜めることが出来ない。ポンドバターは、冷凍で保存期間が長いので、かなりの在庫がある。今後、ポンドバターの生産ラインも使用し、家庭用バターの製造に注力できる。このため家庭用バターの供給は現在の在庫水準でも心配ないと考える。バターが高いという話があったが、今後、酪農家も投資をして、生産量を増やしていく段階であり、現状でバターの値段を下げるのは難しいと考える。

間が一丸となって輸出促進に取組むこととされました。国の輸出促進の司令塔として輸出戦略実行委員会が設けられており、その下に設けられた品目別部会(コメ・コメ加工品部会、青果物部会、花卉部会等)において策定された品目別の輸出方針に基づいて輸出拡大に取組む品目別輸出団体に

組まれてきており、全日本菓子輸出工業協同組合連合会においては、JETRO及び農林水産省の協力を得て、毎年海外において展示・商談会等に参加してきています。

今後、国の輸出強化の取組みに沿って、菓子の一層の輸出拡大に向けた取組みを強化していくためには、全日本菓子輸出工業協同組合連合会を発展的に改組して、農林水産省、JETRO等の輸出関連施策を積極的に活用していくための菓子業界を挙げての品目別輸出団体の設立が必要となっていきます。

このような趣旨で一般社団法人全日本菓子輸出促進協議会を設立いたしますので、多くの菓子メーカー、菓子関係団体の皆様へ加入

組まれてきており、全日本菓子輸出工業協同組合連合会においては、JETRO及び農林水産省の協力を得て、毎年海外において展示・商談会等に参加してきています。

今後、国の輸出強化の取組みに沿って、菓子の一層の輸出拡大に向けた取組みを強化していくためには、全日本菓子輸出工業協同組合連合会を発展的に改組して、農林水産省、JETRO等の輸出関連施策を積極的に活用していくための菓子業界を挙げての品目別輸出団体の設立が必要となっていきます。

このような趣旨で一般社団法人全日本菓子輸出促進協議会を設立いたしますので、多くの菓子メーカー、菓子関係団体の皆様へ加入

いただきますようお願い申し上げます。

平成28年11月吉日

〈設立発起人〉

全日本菓子協会会長・川村和夫

全日本菓子輸出工業協同組合連合会理事長・小高愛二郎

和夫

全日本菓子輸出工業協同組合連合会理事長・小高愛二郎

・その他の菓子の輸出に関心のある菓子製造企業

4. 会費

入会金5万円、年会費15万円

5. 事業

国の助成事業、委託事業に積極的に応募して、国の輸出戦略実行委員会が定めた菓子の輸出拡大方針に沿いながら、以下の事業に取り組む。

(1)海外マーケットに関する情報収集、市場調査研究の実施

(2)セミナー、講習会の開催

(3)海外での菓子のPR、販売促進、販路開拓活動の実施

(4)海外での展示会、見本市等への出展や商談会への参加等

6. 役員等

(1)協議会に次の役員を置く。

理事・10名以上20名以内(会員から選任、会員以外から2名選任可)

(2)監事・2名以上3名以内

(3)理事の中から次の役員を選任する。

理事長(代表理事)・1名

副理事長・3名

専務理事・1名(全日本菓子協会専務理事兼務)

常務理事・1名(全日本菓子輸出工業協同組合連合会専務局長兼務)

7. 総会、理事会等

(1)総会・毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催する定時総会及び必要に応じて開催する臨時総会とする。

(2)理事会・毎年2回以上開催する。

(3)その他検討組織・必要に応じて委員会を設けることができることとする。

全日本菓子輸出工業協同組合連合会

会長 川村和夫

副会長 小高愛二郎

専務理事 奥野和夫

常務理事 山本浩文

理事 石川久行氏、千葉 豊彦氏、山梨 鈴木浩文氏、埼玉 梶野八氏、茨城 根本高行氏の6名が参加して開催されました。

冒頭、茨城県菓子工業組合平子副理事長の開会の挨拶、面澤アロック幹事長及び全菓連大窪理事長の挨拶、菓子博開催地である三重県菓子工業組合副理事長及び三重菓子博実行委員会濱田委員長の挨拶に引き続き、組合功労者に対する関東甲信越アロック幹事長表彰(茨城県菓子工業組合面澤理事長)が行われ、栃木

日「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会中間とりまとめ」が公表され、17日から11月15日の間パブリックコメントに付されている件について、その内容と影響、菓子業界としての対応方針等について説明されました。

各県よりの近況報告及び提案事項として、山梨県より今回の褒賞の審査は大変だと思いが、我々が出品者に納得してもらえる説明ができるように透明性のある審査をしていただきたいとの要請がありました。これに対し、三重県の副理事長から、ご指摘のような審査とするべく関係者で詰めており、特に今回は、これまでと異なる消費者等による

関東甲信越アロック会議開催

全菓連関東甲信越アロック会議が、10月20日(金)15時から茨城県ひたちなか市ホテルニュー白亜紀において1都9県の理事長等46名が参加して開催されました。

冒頭、茨城県菓子工業組合平子副理事長の開会の挨拶、面澤アロック幹事長及び全菓連大窪理事長の挨拶、菓子博開催地である三重県菓子工業組合副理事長及び三重菓子博実行委員会濱田委員長の挨拶に引き続き、組合功労者に対する関東甲信越アロック幹事長表彰(茨城県菓子工業組合面澤理事長)が行われ、栃木

に詳細が載っています。

次いで、お伊勢さん菓子博濱田委員長より菓子博の準備状況の説明、近鉄百貨店、ヤマト運輸、近畿日本ツーリストから説明が行われました。

最後に、次期開催地の長野県菓子工業組合木内副理事長の挨拶、茨城県菓子工業組合稲野常務理事の閉会挨拶をもって会議を終了しました。その後、アロック理事長会議が開催され、お伊勢さん菓子博の各県展示アロックの配置、経費負担等が協議決定されたとのこと。

食品の技能比較試験のご案内

(平成29年第1回 栄養成分)

日本食品衛生協会食品衛生研究所

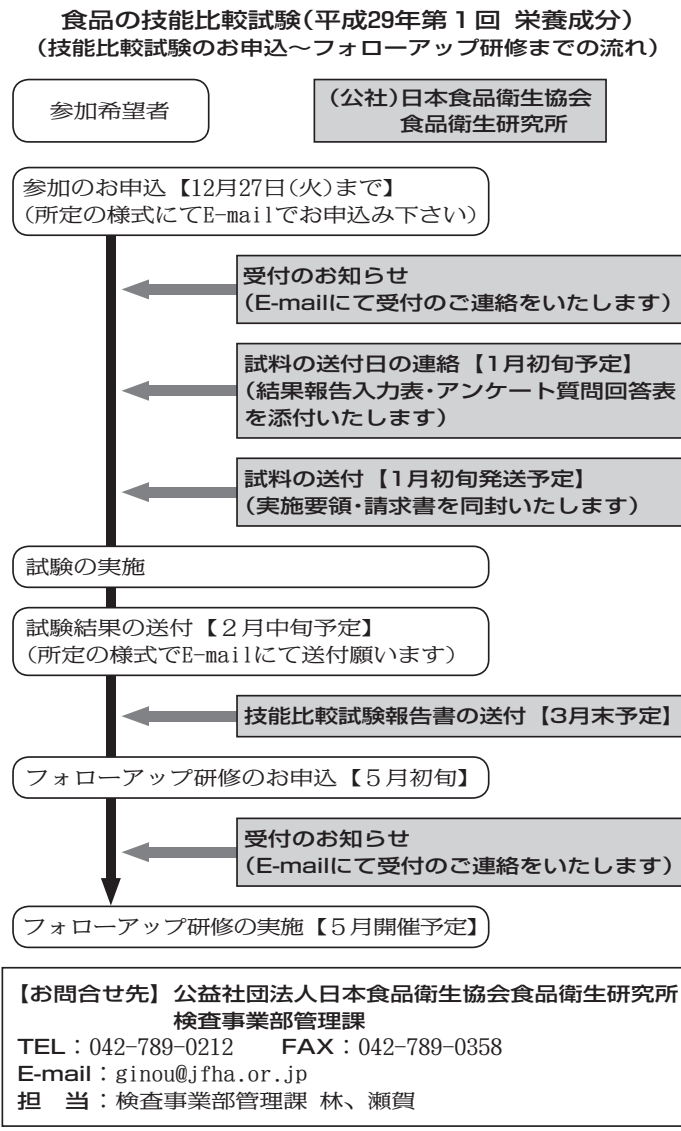
公益社団法人日本食品衛生協会 食品衛生研究所
能比較試験を開始いたしました。平成28年より食品の技能比較試験では、1

試験結果を解析、比較することにより客観的な評価を行います。技能比較試験への参加は、試験所の試験結果の正しさを客観的に評価し保証する手段であり、信頼性の向上、改善のためにご利用いただくことができます。

また、報告書発送後に、試験結果の解説、試験方法のポイントを分かりやすく解説するフォローアップ研修会の開催および試料の販売を予定しています。

【技能比較試験日程(予定)】
参加申込締切：平成28年12月27日(火)
※定員を満了した場合、受付終了となります。
試料の配付：平成29年1月初旬
結果提出期限：平成29年2月中旬
報告書の発送：平成29年3月末

【技能比較試験参加費用】
食協会員・特別会員：20,000円、一般：25,000円
(いずれも税込み価格です、フォローアップ研修会参加費を含みます)
【フォローアップ研修会日程】
開催日時：平成29年5月開催予定
会場：食品衛生センター東京都渋谷区神宮前2-6-1
参加費：技能比較試験参加者：無料
食協会員・特別会員：2,000円、一般：3,000円
(いずれも税込み価格です)
【申込方法】
専用申込用紙を <http://www.r-stoket.jp/houjin/laboratory/news/sinouthakushiken2901.html> にてお申込みください。



【試験項目】水分、たんぱく質、脂質、灰分、ナトリウム

【試験試料】魚肉加工品(缶詰)

【試験方法】栄養成分等の分析方法等(平成27年3月30日消費第139号通知「食品表示基準について」別添)

【試験結果の評価方法】ロバスト平均及び標準偏差に基づくZスコア

【お問合せ先】食品衛生研究所 検査事業部管理課 (担当 林、瀬賀)
TEL：042-789-0212 FAX：042-789-0358 E-mail：ginou@jpha.or.jp

【協力】日本ハム株式会社 中央研究所

食品衛生表彰

菓子関係者多数が受賞

厚生省、(公社)日本食品衛生協会主催による第61回「食品衛生表彰の会」が10月21日、東京・明治座で開かれ、菓子関係者多数が食品衛生功労者及び食品衛生優良施設として、厚生労働大臣賞ならびに日本食品衛生協会会長賞を受賞した。同表彰の会で厚生労働大臣賞を受賞された食品衛生功労者は20名、同優良施設は108施設、日本食品衛生協会会長賞を受賞された食品衛生功労者は三四名、同優良施設は二六施設であった。受賞された菓子関係者は次のとおり。敬称略。

- 厚生労働大臣賞受賞者**
- 食品衛生功労者**
- ▽青森県 大竹正美、村上精司、▽岩手県 小林昭二、鈴木勝太郎、▽宮城県
 - ▽森保次、▽秋田県 鈴木勝博、▽山形県 深澤勝洋、▽茨城県 高庭正、大貫茂夫、▽群馬県 大越正禎、▽埼玉県 小川政男、関口俊一、▽東京都 小日向辰

- 雄、▽新潟県 恩田英直、▽富山県 田中武久、井波博雄、▽三重県 中里二三、▽兵庫県 南和正、辻康信、▽鳥取県 田部浩之、▽広島県 今岡寛信、▽徳島県 林勝、立石博、▽愛媛県 浅野和雄、▽福岡県 渡邊憲治、▽長崎県 一瀬優、▽熊本県 濱田治男、▽大分県 佐々木勝、▽鹿児島県 本吉原明、増尾英機、▽横浜市 合志光紀、石川邦夫、▽川崎市 鈴木映史、富田勇二、▽名古屋市 青山修、伊与田文郎、▽大阪市 多田龍弘、原幹雄、▽広島市 藤谷道子

- 食品衛生優良施設**
- ▽埼玉県 タワーベーカリー(株)、▽千葉県 モロゾフ(株)船橋工場、▽富山県 日の出屋製菓産業(株)立山工場、▽福井県 杉本清味堂、▽岐阜県 梅乃井、▽愛知県 スギ製菓(株)、▽兵庫県 谷常製菓、総本家かん川、▽和歌山県 和歌山県農業

- 日本食品衛生協会会長賞**
- ▽福島県 吉山文雄、▽茨城県 青野潔、▽群馬県 堀越芳春、▽東京都 福本義一、▽神奈川県 館園好、▽新潟県 吉田邦明、▽福井県 丸岡正俊、▽山梨県 渡辺豊、▽静岡県 山内康司、▽愛知県 早川

- 食品衛生功労者**
- 勝博、鈴木憲一、▽大阪府 井美広正、岸谷正純、桐山健一、▽奈良県 吉村博、笹井義幸、▽鳥取県 小椋理佳、▽山口県 小熊坂孝司、▽徳島県 大浦和夫、▽香川県 土居保夫、▽愛媛県 寺町辰昌、▽高知県 松岡良定、▽長崎県 北村豊、富重正美、大村勝、▽熊本県 浅井茂宏、那須

- 食品衛生優良施設**
- ▽北海道 ㈱サンワール、▽宮城県 ㈱菓子職人、▽山形県 ㈱東根菓子舗、▽福島県 菓子処豊田屋、甘盛堂、▽栃木県 ㈱香雲堂本店中工場、▽東京都 TORAYA CAFE 表参道ヒルズ店、▽新潟県 亀田製菓(株)白根工場、菓子竹、▽富山県 社会福祉法人むつみの里、▽石川県

信頼される安心を、社会へ。 **SECOM**

セコムの“ファシリティマネジメント”サービスのご案内

建物の資産価値を長期的に維持する、効果的な総合管理サービスをご案内します。

建物のメンテナンス

建物の維持に欠かせない設備の点検及び改修工事を行います。

- 消防用設備
- 空調設備
- 昇降機設備
- 給排水設備
- 電気設備
- その他設備

ご契約先建物

異常発生時の駆け付け

異常が発生した際は、ご契約先の建物に駆け付けて適切な処置を行います。

ご契約先

- ①設備トラブル(オンコール)
- ②対応指示
- ③現地対応

テクノ・オンコールセンター

- ①設備異常信号(オンライン)
- ②対処指示
- ③現地急行

警備のプロ

セコムオンラインセキュリティ契約

セコムコントロールセンター

セコム株式会社 テクノ事業本部 ファシリティマネジメント営業部

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-25-5 久米ビル
http://www.secom.co.jp/ ☎03-5759-7857